

教科名	国語	週時数	4 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書：国語 1（光村図書） ・単元別漢字ノート（新学社） ・新しい文法ワーク(明治図書) ・よくわかる国語の学習(明治図書) ・読み方レスキュー グレード I (正進社) 				

国語で大切な見方・考え方	<p><見方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象と言葉、あるいは言葉同士の関係性を、その意味・働き・使い方に着目して捉える。 ・言葉の意味、働き、使い方に着目して、世界や事象を捉える見方を身につける。 	
	<p><考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が持つ関係性を問い直して意味付けることで、自分の思いや考えを形成し深める。 ・他者とのコミュニケーションの中で言葉を適切に運用し、自身の認識や表現を再構築していく思考の過程を大切に 	
国語の学習で目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字に加えて、新出漢字を正しく読んだり書いたりして、意味を理解することができる。 ・言葉遣いや語句、文法などの表現を理解し、語彙を豊かにすることができる。 ・目的に応じて楷書や行書を書いたり、それに調和した仮名を書いたりすることができる。 ・古典の仮名遣いや漢文の読み方を理解することができる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字に加えて、新出漢字を読んだり書いたりして、文章の中で適切に使うことができる。 ・文学的な文章や古典を朗読し、登場人物や作者の思いを想像することができる。 ・説明的文章の構成を理解し、筆者の主張を捉えることができる。 ・立場や考えの違いをふまえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手を尊重して話し合ったりすることができる。 ・構成を工夫して、分かりやすく表現することができる。 ・文章の内容や表現に注意して、読むことができる。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面、意図に応じて積極的に話す、聞く、書く、読む活動に取り組み、考えをまとめた り広げようとする ことができる。 ・読書を生活に役立てようとする ことができる。 ・広い範囲から情報を集め、効果的に活用 ことができる。
学習の進め方	授業について	<ul style="list-style-type: none"> ・指名されていなくても自分から考えよう と心がけ、話す・聞く・書く・読む活動に積極的に取り組もう。 ・授業中の発表では、伝え合うことを意識して、工夫して話し合おう。 ・単元ごとにワークでポイントを押さえ、読解の充実を図ろう。 ・文法の学習内容はワークやプリントを活用し、書き込みをしたり、繰り返し復習を したりしよう。 ・授業中は考えながらノートに書き、必要に応じて自発的に書き込んだり、色ペンを使 ったりするなどの工夫をして、復習に活用できるようにしよう。 ・週に一度の漢字テストに向けて、漢字プリントを活用しよう。 ・授業の初めに「読み方レスキュー」に取り組み、読解力の向上に努めよう。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題（漢字ノート・意味調べ・本読み・作文など）は必ずしよう。 ・単元が終わるごとにワークの問題に取り組もう。 ・テストの前には、自分でテストをするなど、工夫して復習しよう。 ・新聞や本などを読んで、読書に親しみ、生活に役立てよう。
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語句の意味、さらに文法や表現、文学史の知識など、覚えたことを確認 しよう。 ・ワーク（漢字、文法など）やプリントを繰り返し解こう。 ・ノートやプリントで、授業の重要なポイントを確認して覚えよう。 ・プリントやワークの「書く」問題は、もう一度自分でやってみて、作文力を身に 着けよう。
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークやプリントは、自分の力で取り組み、きちんと答え合わせをしよう。また、ノートは丁寧 に取り組み、授業後でも復習できるようにまとめよう。 ・文法は積み重ねの学習なので、苦手なところはもう一度ふり返って復習しよう。 	

国語科 1年生 年間学習

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
朝のリレー	詩	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を区別して、話すことや聞くこと、書くことができる。 ・さまざまな文章に応じた読み取りができる。 ・言葉の特徴やきまりを理解することができる。 ・さまざまな古典について知る。 ・さまざまな表現技法を理解し、使うことができる。 ・整った楷書を書くことと、行書の基礎を理解して、書くことができる。 ・漢字の読み書きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・聞き取りテスト ・作文 ・定期テスト ・ノート ・漢字テスト
野原はうたう	詩				
はじまりの風	物語				
音声の仕組みや働き	言語				
漢字の組み立てと部首	言語	5			
ダイコンは大きな根？	説明				
ちょっと立ち止まって	説明				
情報を整理して説明しよう	言語	6			
指示する語句と接続する語句	言語				
空の詩 三編	詩・解説				
さまざまな表現技法	言語	7			
比喩で広がる言葉の世界	解説				
言葉のまとまりを考えよう	言語				
情報収集の達人になろう	情報				
読書を楽しむ	読書	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じて話し合いをすることができる。 ・目的や意図に応じて、相手に伝わる文章を書くことができる。 ・要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ることができる。 ・場面や内容に応じて、相手に伝わるように音読をすることができる。 ・相手の反応を踏まえ、分かりやすく伝わるように話したり、考えながら聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・聞き取りテスト ・作文 ・定期テスト ・ノート
大人になれなかった弟たちに...	物語				
星の花が降るころに	小説				
項目を立てて書こう	書く				
方言と共通語	言語				
聞き上手になろう	話す・聞く				
漢字の音訓	言語				
「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	記録				
根拠を明確にして書こう	書く				
言葉の関係を考えよう	言語				
大阿蘇	詩	11			
蓬萊の玉の枝	古典				
今に生きる言葉	古典				
「不便」の価値を見つめ直す	意見	12			
話題や展開を捉えて話し合おう	話す・聞く				
研究の現場によごそ	読書				
毛筆書写	書写	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって学習に取り組む。 ・積極的に授業に取り組み、授業での学びを自己の生活の中に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・宿題などの提出物 ・漢字プリント
少年の日の思い出	小説				
二十歳になった日	随筆				
単語の性質を見つけよう	言語				
構成や描写を工夫して書こう	詩歌				
漢字の成り立ち	言語				
一年間の学びを振り返ろう	話す・聞く・書く				
ぼくが ここに	詩				
文法まとめ	言語	3			
国語の力試し	読む・話す・聞く・書く				

教科名	社会	週時数	3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	社会科中学生の地理(帝国書院) 新しい社会 歴史(東京書籍) 社会の自主学習(地理1) 社会の自主学習(歴史1) ビジュアル地理Ⅰ・Ⅱ(地理) 未来へつなぐ歴史資料集(歴史)				

社会で大切な見方・考え方	<見方> ・社会の出来事を、「場所や環境(地理)」「時代の流れ(歴史)」「社会の仕組み(公民)」という3つの要素を通して多面的・多角的にみます。さらに、それらが自分たちの生活や地域の課題とどのように関連しているのか、自分事として広い視野で見つめ、課題を解決することを大切にします。身近な疑問から世界規模の事象まで、社会の成り立ちを自分との関わりで捉えることから始めていきましょう。	
	<考え方> ・集めた情報を比較・検討し、共通点を見つれたり原因を探ったりして、「なぜそうなったのか」を論理的に整理・分析します。様々な立場や多様な価値観に触れ、課題を見出し、協働的な学習を通じて「よりよい解決策」を粘り強く考え抜きます。授業や探究活動で学んだことを土台にして、これからの社会をどうやっていくかという自分なりの答えを導き出しましょう。	
社会の学習で目指すこと	知識・技能	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につける。獲得した知識を使ってレポートなどを作成する。
	思考力 判断力 表現力	社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	自らの学習状況を把握し、知識の取得や思考を深めるにはどうすればよいかについて主体的に取り組む。定期テスト等では結果だけにとらわれるのではなく、自分の得意不得意を冷静に見極めて自分自身で調整しながら学習を進めていく。
学習の進め方	授業について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ワーク・ノートを中心に学習を進めます。 ・視聴覚教材として、写真や動画を活用していきます。 ・知識が定着するように、小テストを行うこともあります。 ・授業では、板書を写すだけでなく図やメモなどを書き込み、わかりやすいノートまとめをしましょう。 ・提出物は締切を守りましょう。また、きちんとできているか確認して提出しましょう。締め切り後の提出・再提出は受け付けません。
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用しながら、授業を行います。 ・小テストや授業に関するアンケートなどでPCを使用することがあります。 ・ICT機器やグループでの話し合いなどを通して知識理解を深めたり、表現力を高めていきます。 ・調べ学習やレポート作成に取り組めます。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題が出されたら家でしっかり取り組みましょう。 ・端末を持ち帰り、Googleクラスルームを活用して課題を出すこともあります。 ・テレビや新聞などで学習内容に関連する情報をつかんでおくことも大切です。 ・社会の動きに関心を持つと理解が深まります ・自主学習ノートを活用した学習を行いましょう。 ・授業で疑問に思ったことや興味を惹かれたものについて自主的に調べてみましょう。
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習したことを中心に、教科書や地図帳、ワーク、資料集などから出題します。 ・単に暗記するだけでなく、知識の活用ができるように問題集などに取り組みましょう。 ・テストの点数だけにとらわれず、間違えたり迷ったりした問題をよく確認し、テストを自分の苦手や得意を知る材料にしましょう。
学習上の注意	社会は暗記科目ととらえられがちですが、近年は知識量だけでなく、提示された資料をもとにデータを読み取ったり、わかることを記述したりするなど総合的に問われる問題が高校入試等でも多く出題されます。ふだんから『この資料から何がわかるのだろうか』『どうしてこのような結論になるのか』など知識の活用を意識して授業に取り組むようにしましょう。また、自宅でも時事問題について自分なりに考えたりおうちの人と話し合ったりして、内容を深めておくことも大切です。	

社会科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価				
			評価の観点	評価の場面・方法			
第1部 世界と日本の地域構成	第1章 世界の姿	4	知識・技能	世界の諸地域や日本の国土について地域の諸事情や地域的特色を理解している	定期テスト等において、事実的な知識を問う問題や概念的な理解を問う問題などで評価する		
	第2章 日本の姿						
第2部 世界の様々な地域	第1章 人々の生活と環境	5		調査や諸資料から地理に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている	文章などでの説明や学んだ知識を活かす場面を設けてそのことについて評価する。		
	第1節 アジア州	6		日本の歴史について世界史を背景にそれぞれの時代の特色を踏まえて理解している。			
	第2節 ヨーロッパ州						
	第3節 アフリカ州						
	第4節 北アメリカ州	7		調査や諸資料から歴史に関する多くの情報を調べて他者にわかるようにまとめている			
第2部 世界の様々な地域	第5節 南アメリカ州	9	主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象についてよりよい社会の実現にむけての視野を持って主体的に追究、解決しようとしている。	ノートやレポートによる記述や授業における行動観察、生徒による自己評価を考慮して評価する。生徒の自己評価をもとに自らが自分の課題に気づき修正してできるようになるまで取り組んでいるかについても評価を行う。		
	第6節 オセアニア州						
第3部 日本のさまざまな地域	第1章 身近な地域の調査	10		歴史に関わる諸事象について、主体的に歴史から学びよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている			
第4部 地域の在り方	第1章 地域の在り方						
第1章 歴史へのとびら	1節 歴史をとらえる見方・考え方	11		歴史に関わる事象の意味や意義などについて歴史的観点から多目的・多角的に考察したり、歴史的課題の把握したり公正に選択してその結果を他者に説明したり議論したりすることができる			
	2節 身近な地域の歴史	12					
第2章 古代までの日本	1節 世界の古代文明と宗教のおこり	1		思考力・判断力・表現力		地理に関わる事象の意味や意義などについて地理的観点から多目的・多角的に考察したり、地理的課題の解決に向けての公正に判断したりその結果を他者に説明したり議論したりすることができる	定期テスト等において、論述問題や、授業等でのレポート作成や発表、クラスやグループでの話し合いなどの活動を通して評価をする
	2節 日本列島の誕生と大陸との交流						
第3章 中世の日本	3節 古代国家の歩みと東アジア世界	2				歴史に関わる事象の意味や意義などについて歴史的観点から多目的・多角的に考察したり、歴史的課題の把握したり公正に選択してその結果を他者に説明したり議論したりすることができる	
	1節 武士の政権の成立						
		2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開		3			

教科名	数学	週時数	4 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	「未来へひろがる 数学 1」(啓林館) 「数学の学習ノート」(正進社)				

数学で大切な見方・考え方	<見方> ・事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して、自分なりに理解する。	
	<考え方> ・理由をはっきりさせて整理し、色々な知識を一つにまとめ、そこからさらに新しいアイデアを広げていく。	
数学の学習で目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数学の公式や考え方を、丸暗記ではなく「なぜそうなるか」という仕組みを理解し、活用する。 正しく計算したり、グラフや図を使って自分の考えを正確にまとめたり、答えを出したりするテクニックを磨く。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 一歩ずつ筋道を立てて正解にたどり着く力を身につける。 たくさんのデータやグラフの中から大切な情報を正しく読み取り、物事を決める力を身につける。 自分の考えを根拠をもってわかりやすく伝える力を身につける。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学の面白さを感じ、学んだことを生活や他の勉強に役立てようとする。 解きっぱなしにせず、「もっといい方法は?」「次はどう活かせる?」と自分のやり方をチェックして改善する。 自分とは違う考え方も大切に、いろいろな視点を取り入れて、より良い解決策を見つけ
授業について	数学で大切なこと	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に授業に参加する姿勢をもつこと。 基本的な知識を習得すること。 正確に計算できる力をつけること。 考え工夫してみようとする姿勢をもつこと。
		授業の受け方
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> 授業でやった問題をもう一度やってみよう。 宿題は、必ずその日のうちにやろう。 習ったところのワークを少しずつ進めておこう。
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> 教科書やワークの問題を何度も繰り返してやろう。 わからないところは、先生や友達に聞いてわかるようにしよう。 テストでは見直しをしっかりとしよう。 テストは保管し、間違えた問題はやり直しておこう。
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 授業中は集中し、関心を持って意欲的に問題に取り組もう。 授業のプリントは、途中の計算や考え方を書いたり、大事だと思ったことを自分の言葉でまとめたり、線を引いて見やすくするなど工夫をしよう。 答えより解法の途中経過を大切にしよう。 自分の考えはどんどん発表しよう。 わからないところは、早いうちに先生に質問しよう。 「わかる」→「できる」を目指して、たくさんの演習問題を解いてみよう。 グループ活動で課題解決を進めていこう。 提出物はすべて期日を守って提出しよう。 	

数学科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価								
			評価の観点	評価の場面・方法							
1章 正の数・負の数	1節 正の数・負の数	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な事柄や公式を理解している。 ・解き方を理解し、数学的に計算や作図の処理ができる。 ・事象を数学的にとらえ、式や表、グラフ、図形などで表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・定期テスト ・小テスト ・発言 ・学び合い 						
	2節 正の数・負の数の計算	5									
	3節 正の数・負の数の利用 章末問題	6									
2章 文字の式	1節 文字を使った式	7				思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題を読み取り、気付いたことや自分の見方や考え方を表現できる。 ・身の周りの事象について、数学的な見方や考え方ができる。 ・データを読み取り、批判的に考えることによって、的確に判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・定期テスト ・小テスト ・発言 ・学び合い 			
	2節 文字式の計算 章末問題										
3章 方程式	1節 方程式	9							主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。 ・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。 ・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・定期テスト ・小テスト ・学び合い ・提出物の内容
	2節 方程式の利用 章末問題	10									
4章 変化と対応	1節 関数	11	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。 ・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。 ・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・定期テスト ・小テスト ・学び合い ・提出物の内容 						
	2節 比例										
	3節 反比例										
	4節 比例, 反比例の利用 章末問題										
5章 平面図形	1節 直線と図形	12				主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。 ・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。 ・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・定期テスト ・小テスト ・学び合い ・提出物の内容 			
	2節 移動と作図										
	3節 円とおうぎ形 章末問題										
6章 空間図形	1節 立体と空間図形	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。 ・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。 ・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・定期テスト ・小テスト ・学び合い ・提出物の内容 						
	2節 立体の体積と表面積 章末問題	2									
7章 データの活用	1節 ヒストグラムと相対度数	3							主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じ、意欲的に取り組む。 ・数学を活用して、生活や学習に活かそうとする。 ・自分自身の取り組みを振り返るとともに、さまざまな考えを知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み ・定期テスト ・小テスト ・学び合い ・提出物の内容
	2節 データにもとづく確率 章末問題										

教科名	理科	週時数	3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書「未来へひろがるサイエンス1」（啓林館） 理科の自主学習（新学社） 最新理科便覧（浜島書店）				

理科で大切な見方・考え方	<p><見方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象を主として量的・関係的な視点で捉えること（エネルギー領域・物理） ・自然の事物・現象を主として質的・実体的な視点で捉えること（粒子領域・化学） ・生命に関する自然の事物・現象を主として共通性・多様性の視点で捉えること（生命領域・生物） ・地球や宇宙に関する自然の事物・現象を主として時間的・空間的な視点で捉えること（地球領域・地学） <p><考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で身につけた「比較」「関連付け」「条件制御」「多面的に考える」をいかして、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、考えを表現する。 						
	理科の学習で目指すこと	<table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容や、実験・観察の結果等から自然に関する事物・現象についての概念や原理・法則を理解し、知識として身につける。 ・実験・観察において、正確にそして安全に充分注意し、実験の基本的な操作ができる。また、実験から得られた結果を表やグラフ、図などを用いて表現することができる。 </td> </tr> <tr> <td>思考力 判断力 表現力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を見だし、目的・見通しをもって実験・観察などを行い、その結果について規則性、関係性、共通点や相違点、分類する観点や基準を見つけ出し、自分の言葉でレポートにまとめるなど、科学的に考えることができる。 </td> </tr> <tr> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の事物や身の回りの現象について、興味や関心を持ち、進んで授業・実験に参加することができる。 ・意欲をもって積極的に実験・観察を行ったり、授業では人の話をしっかりと聞き、発表したり、話し合いをするなど、科学的に探求しようとするすることができる。 </td> </tr> </table>	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容や、実験・観察の結果等から自然に関する事物・現象についての概念や原理・法則を理解し、知識として身につける。 ・実験・観察において、正確にそして安全に充分注意し、実験の基本的な操作ができる。また、実験から得られた結果を表やグラフ、図などを用いて表現することができる。 	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見だし、目的・見通しをもって実験・観察などを行い、その結果について規則性、関係性、共通点や相違点、分類する観点や基準を見つけ出し、自分の言葉でレポートにまとめるなど、科学的に考えることができる。 	主体的に学習に取り組む態度
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容や、実験・観察の結果等から自然に関する事物・現象についての概念や原理・法則を理解し、知識として身につける。 ・実験・観察において、正確にそして安全に充分注意し、実験の基本的な操作ができる。また、実験から得られた結果を表やグラフ、図などを用いて表現することができる。 						
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見だし、目的・見通しをもって実験・観察などを行い、その結果について規則性、関係性、共通点や相違点、分類する観点や基準を見つけ出し、自分の言葉でレポートにまとめるなど、科学的に考えることができる。 						
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の事物や身の回りの現象について、興味や関心を持ち、進んで授業・実験に参加することができる。 ・意欲をもって積極的に実験・観察を行ったり、授業では人の話をしっかりと聞き、発表したり、話し合いをするなど、科学的に探求しようとするすることができる。 						
学習の進め方	授業について	授業	<ul style="list-style-type: none"> ・考え・話し合うとき、聞くとき、書くときのけじめをつけよう。 ・話し合いなどには、積極的に挙手をして発表しよう。 ・自分の考えをしっかりと持ち、板書をうつすだけでなく、習った言葉や知識を使って、考えを表そう。 				
		実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験においては、常に危険が伴うことを理解し、安全面を考え、集中して取り組もう。 ・実験には必ず目的があるので、一つ一つの操作を行う意味をしっかりと確認しよう。 ・班のメンバーと協力し、実験を行うだけでなく、準備や片付けも素早く行おう。 ・実験を行う際には、結果をよく見て、自分なりの言葉でその結果からわかることを表現できるように心がけよう。 				
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題はテスト前にまとめてするのではなく、その日学習した内容については、その日のうちに家で復習に取り組もう。また、間違えたところは解説をしっかりと読み、教科書、ノートやプリントなどもきちんと確認しよう。 ・小テストの予告があったときは、必ず事前に復習を行い、小テストに臨もう。 					
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークは1度だけでなく、何度も繰り返し取り組み、苦手なところを無くせるようにしよう。 ・間違えた問題は答えを写して終わりではなく、解説もしっかりと確認し、どうしてその答えになるのかを理解しておこう。 ・疑問に思うところは、そのままにせず質問して解決しよう。 ・終わったテストの問題や解答も保管し、次は間違えないように見直しをしておこう。 					
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業を大切に、集中して取り組む。また、積極的に参加する。 ・実験の結果や考察は自分の言葉で表現できるように心がける。 ・身の回りの自然や事物・現象を不思議だなという目で見て、学習した内容と、身の回りの自然や事物・現象との関連を考えてみる。 ・実験は常に目的意識を持って取り組む。 						

理科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について		
			評価の観点	評価の場面・方法	
自然の中にあふれる生命	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生物の観察 生物のなかま分け 	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念・原理・法則を理解している。 基礎知識が定着している。 実験・観察の操作や目的を理解している。 基本操作を習得している。 目的を把握し、実験結果をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト 観察・実験レポート ノート・ワークシート 実験中の様子（技能） パフォーマンステスト（技能）
【生命】 いろいろな生物とその共通点	<ul style="list-style-type: none"> 植物の特徴と分類 動物の特徴と分類 	5			
		6			
【物質】 身のまわりの物質	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな物質とその性質 いろいろな気体とその性質 水溶液の性質 物質のすがたとその変化 	7			
		9			
		10			
【エネルギー】 光・音・力による現象	<ul style="list-style-type: none"> 光による現象 音による現象 力による現象 	11			
		12			
		1			
【地球】 活きている地球	<ul style="list-style-type: none"> 身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 語る大地 	2	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 興味関心を持ち、進んで学習に参加している。 まじめな態度で集中して取り組むことができる。 発表を進んですることができる。 忘れ物がなく、提出物をきちんと出すことができる。 学習した内容を、身の回りの自然や事物・事象と関連させて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 発表 授業中の様子 振り返り 観察・実験レポート 自由研究
		3			

教科名	音楽	週時数	1.3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書 中学生の音楽 1 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 MY SONG (教育芸術社)				

音楽で大切な見方・考え方	<見方> ・音楽に対する感性を働かせ、音や音楽に対して音楽を形づくっている要素と雰囲気の間連を見つかること		
	<考え方> ・自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けて考えること		
音楽の学習で目指すこと	知識・技能	・曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な基礎的な技能を身につけることができる。	
	思考力 判断力 表現力	・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することができる。 ・音楽を主体的に鑑賞し、自分なりに評価しながらそのよさや美しさを味わうことができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験している。 ・音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養っている。	
学習の進め方	授業について	心構え	・音楽や話をしっかりと「聴く」ことを心がけましょう。 ・どの分野にも意欲的に取り組みましょう。 ・仲間の考えを尊重しあい、お互いの音楽性を高め、全員で協力して進めましょう。
		各分野のポイント	・歌唱では、曲にあった表現を工夫しながら堂々と演奏しましょう。 ・鑑賞では、時代背景や音楽の仕組みを理解しながらよさや美しさを感じ取りましょう。 ・器楽では、音を読むことや楽器を演奏することに慣れ、積極的に演奏しましょう。 ・創作では、音符や休符の長さを理解し、様々なリズムに慣れましょう。
	家庭学習	・クラシック、ポップス、伝統音楽など、様々な音楽を聴いてそれぞれの特徴を味わう。 ・普段からテレビなどで流れている曲に耳を傾け、授業で学習する曲とのつながりを見つける。 ・実技は頭の理解だけでは難しいため、時間や場所を考えて練習をする。	
	定期テスト	・配付されるテスト範囲表に書かれている教科書などのページやプリント類、授業中に学習したことをしっかり復習する。 ・音符、休符、音楽記号の読み方や意味を理解する。	
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備物を忘れないようにしましょう。正しい服装で心を落ち着かせて参加しましょう。 ・毎時間、「めあて」に対してどれくらい達成できたかを振り返り、次の授業へ生かしていきましょう。 ・話をよく聴き、授業に集中して参加しましょう。 ・失敗や間違いを恐れず、素直な心で思い切り表現しましょう。 ・歌い合わせる楽しさ、ハーモニーの美しさ、みんなで音楽を創り上げる喜びを味わいましょう。 		

音楽科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について		
			評価の観点	評価の場面・方法	
オリエンテーション 斉唱の楽しさ	授業の約束を確認する 校歌	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・振り返りシート ・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録
斉唱の楽しさ	校歌	5			
日本の歌に親しむ 情景を思い浮かべながら 楽曲を聴こう	「浜辺の歌」 「春―第1楽章―」鑑賞	6			
クラスの歌声をつくろう	パート分け パート練習のスタート	7			
合唱の喜び	合唱コンクール 学年合唱曲 自由曲	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽の良さや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・振り返りシート ・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録
合唱の喜び 振り返り	合唱コンクール 学年合唱曲 自由曲	10			
曲想と音楽の特徴との 関わりを感じ取って聴 こう	「魔王」鑑賞	11			
楽器に親しもう	器楽	12			
日本の伝統楽器に親し もう	雅楽	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に親しみ、音楽を進んで表現することができる。 ・音楽に親しみ、音楽を鑑賞することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況（活動の様子、忘れ物、提出物） ・振り返りシート
リズムに親しもう	創作	2			
		3			

教科名	美術	週時数	1. 3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書 「美術 1」 (光村図書) 副読本 「美術資料」 (秀学社) 「レタリング字典」 (秀学社)				

美術で大切な見方・考え方	<見方>	・形や色、明るさなどに注目して、作品や身のまわりのものをよく見る。違いや組み合わせに気づきながら主体的に表現する。
	<考え方>	・形やいろなどの関係に気づき、自分の感じたことや考えを言葉にし深める。より自分が表現したいことを工夫・探求する。
美術の学習で目指すこと	知識・技能	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解する。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表す。
	思考力 判断力 表現力	・対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。
	主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にしてひとつひとつの工程に理由と意味を持たせ、表現の学習活動に取り組む。また、作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組む。
学習の進め方	授業について	・1年生を基礎期として、作品の制作を中心にしながらも、教科書や美術資料集などで色彩や材料、スケッチの知識や技能など基礎基本を幅広く身につけられるようにします。また、ワークシートや言葉で考えを整理したり、学びあいを行い、言語活動の充実を行います。振り返りシートを使って授業への取り組みを振り返り次の制作に活かせるようにします。 ・鑑賞では、美術作品、文化遺産、生徒作品などを教科書・美術資料・動画などで鑑賞し、ワークシートを使い自分の意見や感想を述べたり文章で表現したりします。
	家庭学習	・制作に必要な準備物や道具を考えて用意し、宿題を忘れずにしましょう。 ・アイデアスケッチ等をためておき、作品で表現するときに使えるようにしておきましょう。 ・芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連の番組などを見たりしておきましょう。
	定期テスト	・授業内容を中心にワークシートや資料集の知識技能など、基礎基本についての総合問題を出题します。 ・鑑賞の学習では授業内容や背景、歴史などを総合的に出题します。まとめや復習をしておきましょう。
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。 ・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。 ・根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。 	

美術科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価		
			評価の観点	評価の場面・方法	
オリエンテーション	授業の取り組み方 図工と美術の関連	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解し各工程に意図を持ち表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題及び作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・定期テスト
『文字で楽しく伝える』	レタリング基礎技法 (ゴシック体、明朝体) 色彩の基礎知識 (色の三要素・色相環)	5			
文字と手のデッサンによる自己表現	レタリングの文字と手のデッサンを組み合わせる	6			
絵の具の技法	絵の具の様々な技法	7			
仮面	仮面デザインの制作 色彩学習 作品鑑賞	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解し自身の表現したいテーマを明確にしている。配置バランスの美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・日本及び諸外国の美術作品のよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・実習課題及び作品 ・ワークシート ・振り返りシート ・定期テスト
『見つめ、感じ取り、描く』	クロッキー	10			
ジャポニズムとは	作品鑑賞	11			
『風神・雷神像』と『風神雷神図屏風』を鑑賞しよう』	風神雷神図屏風の鑑賞・制作	12	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。作品の各工程に意図がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での様子 ・振り返りシート ・提出物
		1			
		2			
気持ちを伝えるデザイン	メッセージカード制作	3			

※授業の制作進度などによっては 内容が変更になる場合もあります。

教科名	保健体育	週時数	3 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書「中学保健体育」 (学研) 副教材「中学体育実技」 (学研) 「保健体育学習ノート」 (正進社)				

保健体育で大切な見方・考え方	<見方> 運動やスポーツは、ただ体を動かすだけのものではなく、スポーツそのものにある楽しさや喜びといった文化的な価値、および健康の保持増進や体力の向上に果たす役割があります。それらを踏まえて、生涯にわたって心と体を豊かにするエネルギーの源として色々な側面から捉えること。	
	<考え方> 自分の得意なことや興味・関心、さらに周囲の環境や状況を考えながら、「する・見る・支える・知る」といったさまざまな関わり方を運動の特徴と関連づけて捉え、生涯にわたって充実したスポーツライフを続け、発展させるための最適な方法を論理的に考え出すこと。	
保健体育の学習で目指すこと	知識・技能	運動の基本技術・体力を身につける。 運動・体力の必要性を理解する。 健康・安全について、理解し、健康に生活する力と知識を身につける。
	思考力 判断力 表現力	自分や仲間の課題を発見することができる。 課題解決の方法を具体的に考え、合理的に判断することができる。 課題や解決方法を「ことば」で伝えることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	運動を通して、公正・協力・責任・共生を積極的に身につけようとしている。 ※公正…正当なこと ※共生…体力や技能の違いを認め合い、そして、補い合うこと 健康・安全に留意して、運動に積極的に取り組んでいる。 自分や仲間の健康についての学習に積極的に取り組んでいる。
学習の進め方	授業について	体育分野 <ul style="list-style-type: none"> ・自他の安全（用具や服装、身なり、ルールなど）に注意して、運動を行いましょう。 ・仲間と協力し、色々な運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わいましょう。 ・準備運動やトレーニングを毎時しっかり取り組みましょう。 ・自己の能力を向上することを目指しましょう。
		保健分野 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康・安全に興味を持ち、積極的に授業に参加しましょう。 ・健康の保持増進や回復についての知識を身につけていきましょう。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送みましょう。 ・三度の食事を必ず取りましょう。特に朝食は1日のエネルギーです。 ・毎日、自ら決めた「運動」を継続していきましょう。
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・各運動のルールや基礎知識・用語を理解しましょう。 ・授業中に経験した運動を「ことば」で説明できるようにしましょう。 ・健康についての基礎知識・用語を理解しましょう。 ・自他の「健康」を維持することの大切さを理解し、保持増進させる方法、回復の方法を「ことば」で説明できるようにしましょう。
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・「できる」「できない」で判断するのではなく、「やる」「やらない」の取り組みで、「やってみる」のチャレンジ精神を持とう。 ・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組もう。 ・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしないようにしましょう。 ・指示をよく聞いて仲間と協力して、安全に活動しよう。 ・効果的で安全な活動を行うために、基本的な事柄（服装や身なりを整えたり、運動種目の規則を守るなど）に注意し取り組もう。 	

保健体育科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について			
			評価の観点	評価の場面・方法		
ガイダンス	授業の受け方・評価	4 5	知識・技能	<p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 <ul style="list-style-type: none"> ・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。 ○技能 <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じた基本的な技術や応用した技能ができる。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 <ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・学習カード ・定期テスト ・実技テスト ・記録 ・レポート 	
体づくり運動	平田野エクササイズ					
	ストレッチ体操					
	補強運動					
新体力テスト	柔軟体操・集団行動					
	50m・ハンドボール投げ					
	持久走					
	握力・反復横跳び					
陸上競技	立ち幅跳び					
	長座体前屈・上体起こし					
	ルール・安全					
水泳	短距離					
	リレー					
	水慣れ					
保健	健康的な生活と病気の予防					
	キック					
	クロール					
器械運動 (マット運動)	前転・後転・開脚前転	9 10	思考力・判断力・表現力	<p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・学習カード ・定期テスト ・実技テスト ・記録 ・レポート 	
	開脚後転・倒立前転					
体育理論	文化としてのスポーツの意義					
保健	健康的な生活と病気の予防	11 12		<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。 		
武道 (剣道)	ルール・安全・礼儀作法					
	所作・基本動作・攻防					
ダンス	リズムダンス・ステップ					
	演技構成					
陸上競技	持久走					
	心の鍛錬					
球技 (サッカー)	基本技能の向上	1 2 3	主体的に学習に取り組む態度	<p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・学習カード ・定期テスト ・実技テスト ・記録 ・レポート 	
	球技 (ソフトテニス)					ゲーム
						戦術・作戦計画
球技 (バドミントン)	基本の動き					
	ラリー					
	攻防・ゲーム					
球技 (バドミントン)	基本の動き					
	ラリー					
	攻防・ゲーム					

教科名	技術・家庭（技術分野）	週時数	1 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材		東京書籍 技術・家庭科技術分野			

技術で大切な見方・考え方	<見方> ・身の回りの製品や技術が、どのような課題を解決するために作られたものかを見つけること		
	<考え方> ・身の回りの製品や技術は、社会からのどのような要求、安全性、環境負荷、経済性などを背景として工夫されてきたか考えること		
技術の学習で目指すこと	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の特徴や原理・原則を理解する ・工具の安全かつ適切な使用方法を知り、加工することができる ・適切な製図方法を知り、設計図をかくことができる ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる 	
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題から課題を設定し、解決するための構想図をかくことができる ・材料や加工の特徴を踏まえた上で設計を具体化することができる ・製作の過程や製作物について、評価し、改善方法を考えることができる ・他者の考えを参考にして、自分の解決策をより高度なものに修正できる 	
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や加工の特徴や原理・原則を理解しているか振り返りつつ学習を進めようとしている ・工具を安全かつ適切に利用できているか自己評価し、改善しようとしている ・課題を解決するための構想について試行錯誤している ・他者の考えを参考にして自分の考えをよりよいものにしようとしている ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、よりよい技術について考えることができる 	
学習の進め方	授業について	一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習や技術に関する調査を行う際は、コンピュータを必ず使用します。タイピングの練習等を行い、検索することができるようにしておきましょう。 ・問題を解決するために、粘り強く考えるようにしましょう。よりよい技術を考えるためには、課題を設定し、試行錯誤することが必要です。 ・周りの仲間の考えを参照する時間を設けます。自分にはない考え方を参考にして自分の考えをまとめていきましょう。 ・ノートは必要ありません。ワークシートを使って授業を進めます。
		製作学習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するための設計が具現化する製作学習となります。構想や設計と異なる部分が出ることもあります。改善点を考えながら製作をしましょう。 ・製作（育成、制作）したものについて、自己評価や他者評価を受け、よりよいものに改善できるようにしましょう。 ・問題を解決するための方法については、適切に公開するとともに、他者の解決方法を参考にすることは、適切に行いましょう。 ・製作（育成、制作）においては、工具や機器は安全に配慮して使用するようにしましょう。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容について、身の回りの技術を観察し、どのような工夫があるかを考えてください。授業における問題を解決するための思考が向上します。 	
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストはマークシートおよび一部記述問題で行います。 ・問題を解決するために授業で考えたことを問う問題が出題されることもありますので、授業で学習した内容を振り返っておく必要があります。 	
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・製作学習においては、怪我防止のため安全指導・指示を行います。服装や髪型などの指示を守りましょう。 ・製作学習においては、作業工程や必要な工具等を考慮し、安全に行いましょう。 ・作業後の片付けや掃除については自主的に行いましょう。 ・コンピュータの利用については、情報モラルに配慮し、適切に活用しましょう。 		

技術・家庭科（技術分野） 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について				
			評価の観点	評価の場面・方法			
ガイダンス	「技術」の授業	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、金属、プラスチックなどの材料の特徴を知る。 ・工具の安全かつ適切な使用方法を知る。 ・適切な製図方法を知る。 ・CADソフトを使用して、設計図をかくことができる。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。 ・適切な製図方法を選択し、等角図や第三角法による正投影図を正確にかくことができる。 ・適切な製図方法で設計図をかくことができる。 ・情報のデジタル化やシステム化に関する基礎的な技術の仕組みを理解する。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストや定期テスト ・技能テスト（工具の適切な活用、製図の方法、製図、プログラミングなど） 		
A材料と加工の技術	既存の技術の調査	5		思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・問題から課題を設定し、解決するための構想図をかくことができる。 ・CADソフトを利用して、製作品の課題を解決する工夫を加えることができる。 ・材料や加工の特徴を踏まえて上で設計することができる。例えば、木材の木目や強度を生かした設計をすることができる。 ・工具を安全かつ適切に使用し、正確に加工ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構想図や設計図に関するワークシート ・製作（制作）の過程や製作（制作）物の評価に関するワークシート ・レポート 	
	材料の特徴と適切な加工法	6					
	製図・製作物の設計						7
							9
							10
							11
	製作 具体的な加工法について						12
							1
							2
	評価	3					

教科名	技術・家庭科（家庭分野）	週時数	1 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	教科書 新しい 技術・家庭 家庭分野 東京書籍				

家庭で大切な見方・考え方	<見方> 生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること。		
	<考え方> ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、課題を解決できるように考えること。		
家庭の学習で目指すこと	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深めている。 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食などについて理解しているとともに、技能を身に付けている。	
	思考力 判断力 表現力	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、安心・安全な生活を送るために課題を発見し、その課題を解決する力を身に付けている。 食品や衣服などの選択について考え工夫している。	
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習を進め、習得したことを生活に活かすことができる。 よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
学習の進め方	授業について	一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の持ち物を忘れないようにしましょう。 ・発問に対して、自分の生活の中から知っていることを考えましょう。 ・実生活と結び付け、課題を見つけていきましょう。
		制作学習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な準備物を忘れないようにしましょう。 ・実習内容を確認し、安全に作業しましょう。 ・難しい作業などは家で練習しましょう。 ・実習の反省や振り返りは、課題を見つけ、課題を解決するための方法などをたくさん書きましょう。
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習したことを家庭で練習したり、手伝いとして実践したりしましょう。 	
	定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストはマークシートおよび一部記述問題で行います。 ・授業で学習した内容を振り返っておいてください。 	
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物や提出物は忘れないようにしましょう。 ・授業に集中し、発問には積極的に挙手しましょう。 ・プリント類は順番通りに綴じましょう。 ・作業や実習では、集中して取り組み安全に気を付けましょう。 		

技術・家庭科（家庭分野） 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価について		
			評価の観点	評価の場面・方法	
食事の役割と中学校の栄養の特徴	ガイダンス 食事の役割 私たちの食生活 栄養素の種類と働き	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について課題を設定し、工夫して解決しようとしている。 ・1日分の献立作成し、その献立の課題をみだし、改善する力を身に付けている。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・振り返り ・実技テスト
食事の役割と中学生の栄養の特徴	栄養素の種類と働き 中学生に必要な栄養素	5			
中学生に必要な栄養を満たす食事	食品に含まれる栄養素 6つの食品群と食品群別摂取量の目安 バランスの良い献立作り	6			
日常食の調理と地域の食文化	バランスの良い献立づくり 日常食の調理	7			
日常食の調理と地域の食文化	調理の基礎技能	9	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について課題を設定し、工夫して解決しようとしている。 ・1日分の献立作成し、その献立の課題をみだし、改善する力を身に付けている。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト ・振り返り
日常食の調理と地域の食文化	魚の調理	10			
日常食の調理と地域の食文化	包丁の使い方	11			
衣服の選択と手入れ	衣服の役割	12			
衣服の選択と手入れ	私らしさとT・P・O 日本の衣服の文化	1	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心に食生活を過ごすための方法を考え、実践しようとしている。 ・1食分の調理について、調理計画を考え工夫し意欲的に実践しようとしている。 ・衣服の手入れについて、課題を解決するために取り組み、生活を工夫し実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・授業中の発言 ・振り返り
衣服の選択と手入れ	衣服の手入れ 衣服の洗濯と保管	2			
私たちの家族と家庭生活	私たちの家族と家庭生活 私たちが担う家族・家庭の機能	3			

教科名	英語	週時数	4 時間	学年	1 年生
使用教科書及び副教材	「NEW HORIZON English Course 1」(東京書籍)、エイゴラボ①(正進社)、Wプリント(新学社)、英語マスターノート(明治図書)				

英語で大切な見方・考え方	<見方> ・コミュニケーションを行う際に、言葉だけでなく相手の持つ文化や背景を意識しながら対話をおこなうこと	
	<考え方> ・目的・場面・状況に応じて情報を整理し言い換え、相手を尊重したコミュニケーションをおこなうこと	
英語の学習で目指すこと	知識・技能	1. 社会的な話題について知るために、ディスカッションやニュースを聞き要点をとらえることができる。(聞くこと) 2. 社会的な話題について知るために、説明文などまとまりのある文章を読んで要点をとらえることができる。(読むこと) 3. 社会で起きていることに関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理し伝え合うことができる。(やり取り)
	思考力 判断力 表現力	4. 社会で起きていることに関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理しまとまりのある内容を話すことができる。(発表) 5. 社会で起きていることに関して、聞いたり読んだりしたことをもとに、考えを整理しまとまりのある内容を書くことができる。(書くこと)
	主体的に学習に取り組む態度	1. 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 2. 相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 3. 様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。
学習の進め方	授業について	・グループワーク、ペアワーク、ALTの先生との会話、発表などに積極的に取り組み、英語をたくさん話すことに挑戦しましょう。 ・先生や友達の話す英語、CDの音声など、聞くべきところはしっかり聞いて、内容を理解する努力をしましょう。 ・教科書や単語、重要表現の音読には大きな声で取り組み、英語のリズムやイントネーションに慣れましょう。 ・単語や英文は根気強く音読しながら書く練習をしましょう。 ・ノートやプリントに、黒板を丁寧に書き写しましょう。 ・メモディーで着席し、授業の準備をきちんとしましょう。 ・友達や先生の話す英語を聞く姿勢にも気をつけましょう。
	家庭学習	・進路実現に向けて、予習・復習、宿題をしっかりとしましょう。 ・授業で学習した本文や単語は、家でも音読練習をしましょう。 ・ワークやまとめのプリントをしたり、授業で使ったプリントを利用したりして、知識の定着を図りましょう。
	定期テスト	・授業で扱った基本文や重要表現を英語で書けるようにしましょう。 ・授業中にチェックした本文は書けるようにしておきましょう。 ・ワークやプリント、授業で取り組んだ問題は何回もやり直しましょう。 ・ALTの先生と一緒に勉強した内容を聞いたり書いたりできるようにしておきましょう。
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことがあれば先生や友達に聞いて、疑問点を解決していきましょう。 ・提出物は提出期限までにしっかりと取り組み、忘れず提出しましょう。もし忘れたときは申し出てください。 ・英語を使える場面では間違いを恐れず英語を使いましょう。「伝えたい」という気持ちを大切にしましょう。 	

英語科 1年生 年間学習計画

単元	学習内容	月	評価	
			評価の観点	評価の場面・方法
Unit 0 Unit 1	Nice to meet you. Hello, everyone!	4	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメートとあいさつをしたり、好きなものをたずね合ったりすることができる。・自分のことを伝えたり、相手のことをたずねたりすることができる。・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。・知らないものや人についてたずねたり、いつ・どこなのかをたずねたりすることができる。・数や時刻、好きなものについてたずねたり、指示や助言をしたりすることができる。・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。・自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。・自分と相手以外の人について話したり、だれのものかをたずねたりすることができる。・今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。・好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。・過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことについて説明することができる。・思い出に残った出来事について発表することができる。
Unit 2	Our new teacher	5		
Unit 3	Our school	6		
Unit 4 Stage Activity 1	Friends in New Zealand. "All about me" Poster	7	思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題で提出した英文の評価及びインタビューテスト ・Unit Activity で使用したワークシートやノート（理解度や取り組み状況） ・本文の音読 ・本文の内容について聞いたり読んだりしたことの筆記テスト ・やり取りのパフォーマンステスト
Unit 5	My brother in Hawaii	9		
Unit 6	A Rakugo performer from the U.K	10		
Unit 7	An online tour of the U.K	11	主体的に学習に取り組む態度	<p>【聞くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p> <p>【読むこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p>【話すこと[やり取り]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>【話すこと[発表]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>【書くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>
Unit 8 Stage Activity 2	Think Globally, Act Locally My Hero	12		
Unit 9	Winter Vacation	1		
Unit 10	This Year's Memories	2		
Stage Activity 3	My Favorite Event This Year	3		

特別の教科 道徳 年間学習計画

単元		主題名	月	道徳の学習について							
1 学 期				週時数	1	使用教科書	あすを生きる 1				
1	サッカーの漫画を描きたい	夢に向かって	4	道徳の学習でめざすこと	①お互いを認め合い、大切にし、高め合おうとする態度を育てる。 ②人の思いや生き方に共感し、差別の問題をなくそうとする態度を育てる。 ③自分の言動に責任を持てるようにする。						
2	人のフリみて	ありがとうのもつ力	5								
3	"村人B"には	チームの一員として									
4	「愛情貯金」をはじめてみませ	あいさつの大切さ									
5	さかなのなみだ	いじめのない集団									
6	言葉の向こうに	お互いの立場の理解	6								
7	葉っぱ切り絵で見えた道	自分らしさ									
8	ばあば	共に生きる									
9	木の声を聞く	自然と共に生きる									
10	疾走、自転車ライダー	安全への心構え	7					道徳の学習の進め方	・主に教科書、道徳ノートを使いながら授業を行います。 ・補助教材として、映像や資料を提示することもあります。 ・授業の終わりには、その1時間の「振り返り」を行います。		
11	門掃き	しきたりに込められた思い									
12	使っても大丈夫？	法の役割									
13	ソウタとミオ	友情の鍵									
2 学 期				9	評価について		・特別の教科「道徳」では、定期テストは実施しません。 ・学期末の通知表には、数値による評価ではなく、記述式の評価を行います。				
14	私らしさって？	自分を大切に									
15	震災を乗り越えてー復活した郷土芸能	郷土芸能を伝える									
16	どうして？	公平とは何か									
17	さよならホストファミリー	日本を伝える									
18	違いを乗り越えて	他国の人と接する									
19	バスと赤ちゃん	社会の中での思いやり									
20	三人の乗客	理解し合うために									
21	あらゆるものに神は宿っている	自然への向き合い方									
22	あったほうがいい？	過ごしやすい社会	10	目指す学校像							
みんなが安心して過ごせる居心地の良い学校											
23	ふれあい直売所	きまりを守る	11	道徳目標							
24	あふれる愛	生命を大切に		自他を思いやり、仲間とのつながりを大切にできる生徒の育成							
25	iPS細胞で難病を治したい	新しいものを生み出す									
26	その声は	家族への思い									
27	ゆうへー生きていてくれてありがとうー	支え合う生命	12	道徳教育の指導方針							
28	旗	友情が生まれるとき		生徒の実態に合った課題を示し、多面的・多角的に考え、議論させる。 考え、話し合ったことをもとに、自己の生き方を見つめ直す機会をつくる。							
29	裏庭のでできごと	誠実な生き方									
3 学 期				生徒指導	学級・学校環境	家庭との連携	地域社会との連携				
30	おじいさんの100ドル	国際貢献のために	1	・基本的な生活習慣を確立させる。(あいさつ、時間のけじめ、身だしなみ等) ・交通指導など安全指導を重視する。 ・毅然とした態度と生徒の心情を引き出す指導を行う。	・生徒間、生徒と教師間、教師間のよりよい人間関係、信頼関係の構築に努める。 ・清掃活動等を通じて、落ち着いて学校生活を送れる環境づくりを目指す。	・学校通信、学年通信、学校ホームページ、PTA広報を通して、教育内容を発信し啓発する。 ・家庭訪問を適宜行い、保護者との連携をとる。	・健全育成協力者会議等の各機関との連携を密にし、環境美化や交通安全等、健全育成に努める。 ・キャリア教育の取り組みである職業体験学習等で地域の人材、地域の素材を活用する。				
31	オーロラー光のカーテン	自然に感動する心									
32	オアシスの老人	自分を見つめる									
33	私は清掃のプロになる	心がこもった仕事	2								
34	「肝心」のバスガイド	ふるさとへの思い									
35	いつわりのバイオリン	よりよく生きる	3								